

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 動物看護師学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			生命倫理・動物福祉	生命倫理の考え方及び動物愛護・動物福祉(アニマルウェルフェア)について学ぶ。	1 前	30	1		○		○			○	
2	○			動物形態機能学	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに、病的変化について学ぶ基盤を確立する。	1 前	120	8	○			○			○	
3	○			動物繁殖学	繁殖に関わる形態機能学を学び、妊娠・分娩と新生子管理、遺伝学の基礎知識を習得する。	1 後	30	2	○			○		○		
4	○			動物行動学	犬や猫の種としての行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。	1 後	30	2	○			○			○	
5	○			動物栄養学	5大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法などを修得する。	2 前後	30	4	○			○			○	
6	○			比較動物学	飼育動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理法、実験動物の品種や飼育管理法、動物実験との関わり、日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物の個体群管理について学ぶ。	2 後 3 前	30	4	○			○			○	
7	○			動物看護関連法規	動物看護に関連する法規について学び、愛玩動物看護師のあり方等を理解する。	1 後	15	1	○			○			○	
8	○			動物愛護・適正飼養関連法規	動物愛護及び適正飼養に関連する法規について学び、人と動物の共生のあり方等を理解する。	1 後	15	1	○			○			○	
9	○			動物看護学概論	獣医療の歴史や愛玩動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する。	1 後	30	2	○			○			○	
10	○			動物病理学	様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態について理解する。	1 後	30	2	○			○		○		
11	○			動物薬理学	代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用及び副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する。	2 前後	60	4	○			○			○	
12	○			動物感染症学	微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎について理解する。感染防御に関わる免疫学の基礎について理解する。	1 後 2 後	90	6	○			○		○		
13	○			公衆衛生学	環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。	3 前後	60	4	○			○			○	

14	○			動物内科看護学	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像診断に必要な検査、所見の記録等について理解する。	1 前 2 前	90	6	○				○				○	
15	○			動物外科看護学	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの周術期の流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。	2 後 3 前	60	4	○				○					○
16	○			動物臨床看護学総論	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する。	2 後	30	2	○				○					○
17	○			動物臨床看護学各論	様々な疾患の病態生理を理解し、引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法について理解する。	3 前後	120	8	○				○					○
18	○			動物臨床検査学	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方について理解する。	2 前	30	2	○				○					○
19	○			動物医療コミュニケーション	事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について理解する。	2 前	30	1		○			○					○
20	○			愛玩動物学	愛玩動物の歴史や品種、使役動物の歴史や役割、適切な飼育管理方法について、発達行動学を基盤とした理解ができるようになる。	1 前 2 後	60	4	○				○					○
21	○			人と動物の関係学	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的及び社会的側面から、その実態、課題等を含めて理解する。	1 後	30	2	○				○					○
22	○			適正飼育指導論	愛玩動物の効用や飼育目的等を理解した上で、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みについて理解する。	1 前 2 後	60	4	○				○					○
23	○			動物生活環境学	飼育環境の整備、共生住宅、ツーリズム関連施設、保護収容施設、教育・訓練施設及び動物介在教育施設の整備・管理の方法、飼育マナーについて学び、人とペットとの共生のための生活環境のあり方を理解する。	3 前	30	2	○				○					○
24	○			ペット関連産業概論	職業倫理・行動倫理を理解するとともに、ペット飼育のニーズや形態、ペット関連産業を構成する業種の概要、動物取扱業における動物取扱責任者としての実践的知識や手法を学ぶ。	1 後	30	2	○				○					○
25	○			動物形態機能学実習	動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ。	1 後	45	1					○	○				○
26	○			動物内科看護学実習	内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	1 前 2 前	135	3					○	○			○	○
27	○			動物外科看護学実習	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	2 後 3 前	90	2					○	○			○	○
28	○			動物臨床看護学実習	動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	3 前後	90	2					○	○				○
29	○			動物臨床検査学実習	検体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。	1 前 2 前	90	2					○	○			○	○

30	○		動物看護総合実習	実際の動物診療施設で診療業務に参加し、診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。	2 前 ～ 3 前	180	4				○	○	○			○	○
31	○		動物愛護・適正飼養実習	学校犬猫を通じ、動物の飼養管理に関する基本的な取扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、実践力を修得する。	1 前 後	90	2				○	○			○		
32		○	マナー講座	ビジネスマナーと一般常識を学び、職業としての動物看護師の一般性を修得する。	1 後 ～ 3 後	30	1			○		○				○	
33		○	PCスタンダード	マイクロソフトオフィスやTeamsを主としたPCスキルを修得する。	1 後 ～ 3 後	30	1			○		○				○	
34		○	動物行動学演習	動物行動学を発展的に学び、動物看護師としての実務に活かす。	2 前	30	2			○		○				○	
35		○	愛玩動物臨床演習	学内動物看護の実際を学年を超えて教えあうことでチームワークと記録管理について実践的に学ぶ	1 後 ～ 3 後	30 ～ 180	1 ～ 5			○		○			○		
36		○	中獣医療演習	鍼灸やマッサージなど、中獣医療の基本的知識や実技を修得する。	2 前 ～ 3 後	30	1			○		○				○	
37		○	救急救命対応	動物看護師として必要な救急救命対応の知識を身に付け、迅速な対応ができる人材を目指す。	3 後	15	1	○				○				○	
38		○	動物飼育演習	学内飼育動物(犬猫以外)の演習からエキゾチックアニマルや動物園動物の飼育法や生態について学ぶ。	1 後	30 ～ 300	1 ～ 10			○		○			○		
39		○	しつけ・トレーニング	実際の犬を用いてしつけおよびトレーニングの実際を学び、基本的なコマンドを形成できるようになる。	1 後	30	1			○		○				○	
40		○	行動変容法	イヌのQOLを最重要視し、イヌとヒトが協調して暮らしていけるよう行動分析学を用いた行動変容法を学ぶ	2 前 ～ 2 後	30	1			○		○				○	
41		○	愛玩動物飼養演習	学内飼育犬の日常管理を継続的にを行い、報告連絡相談をグループで行うことで、実践力を身につける。	2 前 ～ 3 後	30 ～ 120	1 ～ 4			○		○			○		
42		○	エキゾチックアニマル看護	エキゾチックアニマルの生態、適切な取り扱い、診療に必要な検査、処置を理解し適切な準備を学びます。	3 前	15	1	○				○				○	
43		○	動物看護師講座	看護師試験過去問題集を中心に復習を行い、知識の定着を深め愛玩動物看護師国家資格への合格を目指す。	3 前	30 ～ 240	1 ～ 8			○		○			○		
44		○	卒業研究制作(ゼミナール)	各自がテーマをもち、研究的手技を用いて問題発見・解決、仮説検証、イベント、制作物の作成を行う。	3 前	30 ～ 90	1 ～ 3			○		○			○		
45		○	グルーミング実習	グルーミング技術を段階的、発展的かつ習得する。	1 前 ～ 3 後	45 ～ 495	1 ～ 11				○	○			○	○	

46		○	業界研修	幅広い動物分野の業界の現場実務を経験することで、視野を 拡げ、理解を深め、社会性を身につける。	1 前 3 後	45 ～ 270	1 5 6			○		○	○		
47		○	産業動物学実習	産業動物の現場で実習を行い、酪農を含めた産業動物分野の 見識を深める。	1 前 3 後	45 ～ 135	1 5 3			○		○	○		
48		○	動物看護指導実習	内科・検査・外科実習にアシスタントとして参加し、指導を通じて 自らの学びと指導法を修得する。	3 前 後	45 ～ 90	1 5 2			○	○		○		
49		○	動物栄養学実習	栄養指導および調理実習を行い、手作りご飯や特別療法食等 の指導ができるようになる。	3 前	45	1			○	○			○	
合計					49	科目	156 (4050)	単位 (単位時間)							

卒業要件及び履修方法				授業期間等	
卒業要件：卒業の認定は、卒業までに必要なすべての授業科目の単位(必修全科目および必修選択科				1 学年の学期区分	2 期
履修方法：単位は試験・レポート・平常点により認定する。				1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。